

## 第3章 プログラミング本には専用の読み方がある！

### 1、知らない！分からない！ でも、それでいい

プログラミング関連の書籍を読むにあたって、絶対覚えておいて欲しい事があります。

それは  
**知らなくても焦らない！分からなくてもパニくらない！**  
という事です。

慣れていない人は、  
「こんなに色々沢山書いてあって全然分からないよー」  
といきなり挫折感を味わいますが、全く気にする必要はありません！

**なぜなら「書いた本人も完全には理解していない」からです。**

は？と思ったかもしれませんが、理由を話します。

実は、書く側も、**最初から全て知っているわけではありません。**  
執筆時点では知らない事は山ほどあります。

**だから、著者は（かなり）調べながら本を書いています。**  
調べながら書くのだから、ついつい内容が詳しくなるのは当然なのです。

また調べても分からない時は、周囲の人に聞いて教えて貰ってます。

**決して著者一人の力だけで書いている訳ではないのです。**

さらに言うと、本が完成してから書いた内容を忘れてしまう事もあります。

言い方を変えれば、書籍とは  
著者が「私はこんなに勉強しました！」と結果発表したもの  
と言えるかもしれません。

まとめます。本の内容には  
**書いた本人でさえ知らなくて頑張って調べた事**  
が山ほど含まれています。

**だから読者である私達は、もっと知らなくて当然なんです。**

これを念頭において慌てないように注意して下さいね。

## 2、本を開く前に絶対やる事

さて読み始める前に、絶対やらねばいけな事があります。

これを忘れて効率を落としてしまう人も多いです。

それは何かというと

**付録の CD-ROM を必ず抜く！**

事です。

なぜならディスクが付いたままだと、ページがめくり難いですよね？

**当たり前と言えは当たり前ですが、抜くのが面倒なので結構おろそかにしがちです（私含む）。**

CD-ROM は読む前に忘れず抜き取っておきましょう。

抜いたディスクですが、そこら辺に放って置かずに必ずケースへしまいましょう。

私は[このような大容量ケース](#)に入れて一括で保管しています。



さてディスクを抜いたら、もう一つやって欲しい事があります。

それは

**収録されているサンプルプログラムを、パソコンにコピーする  
事です。**

最初に全部コピーしておけば、今後ディスクを探す手間が省けます。

こうしておけば、気になった時すぐにサンプルを見られます。これが重要です。

**なぜなら、サンプルプログラムは、書籍の本文よりも大事なんです（誇張ではなく）。**

詳しくは、後述の「サンプルプログラムを100倍活用しよう！」で解説しますが  
上手く使えばあなたの強力な資産になります。

ですから、いつでもサンプルにアクセスできる状態にしておきましょう！